

なかつか 亮

2007年 迎春

今こそ憲法9条

平和を創る勝負の年に



新しい年が明けました。希望ある年をつくるために、
平和の礎^{いしずえ}である日本国憲法を今こそ輝かせましょう。
私は安倍首相の憲法改定宣言を許す事はできません。
憲法9条の道こそ平和への道。今年もがんばります。

あの戦争から何を学ぶのか

昨年の8月15日付東京新聞に「読者からの伝言 あの戦争から何を学ぶのか」という特集がありました。

教育が大切

都内80才の方は「目の前に敵が来れば私も打っていた。兵隊に行く事が格好いと志願。親も先生も止めなかった。戦争を繰り返させないための教育が大切だと思う」

主体性

千葉県77才の方は「戦争に勝つために働かねばと無我夢中。戦

後61年を経た今、軍国主義一色だったことに気付かされる。ただ、無批判に、むやみに組織に動かされていたという感じがある。理性をもつて、主体的に判断し、行動することの重要性を痛感する。再び愚かで悲惨な戦争を絶対起こしてはならないと訴えたい」

若い人たちへ

別の方は「何か物申せず、非国民とさせず、人間扱いされなかつた。戦争体験のない若い人たちが徴兵のことまで真剣に考え、憲法守り、私たち

の過去を再び繰り返させないようにと願っている」

今できることは

私は、昨年の10月で31才になりました。たくさん戦争体験を聞きたびに「私たちの世代に、今出来ることって何だろう」と考えます。その1つの答えが「継承」です。

いま私は、平和を継承する、憲法を無傷で次の世代に継承する、平和の礎である日本国憲法を継承する事の重みを「ずしっと」感じています。



裏面へ

語り広げるといふことの大切さ

若い世代の気持ち

1月8日、大井町駅前のきゅりあんで、品川区の成人式が行われました。

ひとときわ際立つ「髪型」や「超！元氣してた？」との会話が飛び交う中、

私は民青同盟の青年と一緒に宣伝を行ないました。

ある参加者は「いま何が起きているのかもっと知らなきゃ。大人になったのだからもっと勉強したいです」「政治の話は苦手だけど、真面目ってかっこいい。私は戦争反対です」と話す若者。

いつの時代も見た目だけの印象で「最近の若者は…」と色々続きますが、私が対話した若者は、みな真面目に、自分と向き合っていました。

私は平和を創るため、世代を超えた交流や連携が大切だと感じています。

戦争のつくり方

ナチスNo.2証言

私は地域の新年会で「平和のためにも、戦争始める相手の手法も知ることが大切だよ」と教えられ、ある新聞記事を手渡されました。

それは「戦争屋」と呼ばれたナチスNo.2のヘルマン・ゲーリングの裁判での証言です。

「もちろん国民は戦争など欲していません。ただし、戦争を起こすことは簡単です。『今君たちは攻められているのだ』と危機感をあおり、それに反対する平和主義者に対して、『お前たちは国の利

益を損なっている』と恫喝すればいいのです。こうしたら、戦争なんか簡単に起きます。これはドイツだけではありません。イタリアもアメリカも日本も全部一緒です」

ゲーリングの言葉に、今日的なリアリティーを感じてしまうのは私だけではないと思います。

子どもの成長よりも「愛国心」を優先する改悪教基法。海外派兵を本来任務に格上げする「防衛省」法。1月末には共謀罪法や国民投票法：「この道はいつか来た道」とさせてはなりません。

平和を語り続けることの大切さ。2007年は勝負の年です。

なかつか亮

日本共産党

『気軽な町の無料法律相談会』の変更のお知らせ

1月の相談会は都合により延期とさせていただきます。次回は2月16日(金)午後6時～8時。会場：日本共産党なかつか亮事務所。

弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください

連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231